

はじめに



わが国では、近年、高齢化が急速に進んでおり、これから本格的な超高齢社会を迎えます。

本市の高齢化率は、平成23年度には20.4%でありましたが、団塊の世代が65歳以上となる平成27年には25.8%になることが予想されています。

そこで、本市では、「高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創る」ことを目標に、介護保険事業の適切かつ円滑な運営と高齢者に関する各種保健福祉施策を推進するため、平成24年度から3年間の新たな「高齢者保健福祉推進計画（介護保険事業計画）」を策定しました。

この計画では、介護、予防、医療、生活支援サービス、高齢者にふさわしい住まいを一体的・継続的に提供する「地域包括ケアシステム」の考え方を念頭におき、健康づくりや介護予防を推進し、たとえ介護が必要な状態になっても、できる限り住みなれた地域で、心豊かに安心して暮らし続けることができるよう取り組んでまいります。

昨年の東日本大震災では、安全・安心に対する意識の高まりや、人と人との「絆」の大切さが再認識されたところです。誰もが安心して暮らしていくためには、お互いのコミュニケーションを深め、「地域で支え合う力」＝「地域力」を高めていくことが必要であり、高齢者の安否確認や見守りネットワークの構築など、高齢者が孤立しないよう様々な施策を進めてまいります。

今後は、この計画に基づき、市民の皆様の参加と、関係機関との緊密な連携・協働のもと、高齢者が心豊かに暮らせる長寿社会を創るため、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

おわりに、この計画の策定にあたり、貴重なご意見をいただきました、千葉市社会福祉審議会高齢者福祉・介護保険専門分科会委員の皆様をはじめ、関係各位に厚くお礼を申し上げます。

平成24年3月

千葉市長 熊谷 俊人